



## 第7回 技能オリンピック全社大会

2011年2月25日(金)、26日(土)の2日間、TAKADA研修センターにおいて「第7回技能オリンピック全社大会」が開催されました。

本大会は毎年開催されており、全社11事業所より製缶、配管、仕上、溶接、電気計装の職種ごとに選抜された入社6年目までの若手技能社員が、与えられた競技課題を制限時間内に製作し、その出来栄・工程・製作時間などの項目で採点した得点を競うものです。従来は、事業所間の工事特性により職種ごとに事業所間のレベル差がありましたが、今回から、事前教育を実施したため、これまで以上にレベルの高い戦いとなりました。出場選手たちは、業務の忙しい中、遅くまで先輩に指導を仰ぎ腕を磨いた者、大会直前まで出張工事に従事しながら今大会のために戻ってきた者など、様々な状況のもとで上位入賞を目指し、真剣な戦いが繰り広げられた結果、君津支社が総合優勝の栄冠に輝きました。

今大会の出場選手には昨年度の新入社員が7名も含まれており、その中から長浜事業所の松永賢吾さんが、配管の部で見事優勝を飾りました。このような新入社員の活躍は、2007年度から始めた新入社員を対象とする半年間の「全社共通基礎技能教育」の成果の顕れとして、教育関係者の喜びもひとしおの様子でした。

当社の事業継続を支える『技能伝承』が、匠から若手技能者へ着実に伝わっていることを実感できる2日間でした。

### 【競技内容・課題】

#### ■製缶

- ・展開図作成
- ・製作図に基づく製缶製品の製作  
\*国家技能検定 1級&2級と同等レベル

#### ■配管

- ・平面図に基づきスプール図を作成し工事量を算出
- ・スプール図に基づく配管製作  
\*国家技能検定 プラント配管2級と同等レベル

#### ■仕上

- ・芯出しユニットによる組立て芯出し
- ・組立図に示す機械部品の製作組立て  
\*国家技能検定 機械仕上2級と同等レベル

#### ■溶接

##### 【被覆アーク溶接の部】

- ・突合せ継手の立向と横向被覆アーク溶接
- ・継手部の溶接部放射線透過試験
- ・角継手 TIG 溶接と隅肉被覆アーク溶接
- ・四角柱の溶接後のエアリークテスト

##### 【半自動溶接の部】

- ・V形突合せ継手の立向と横向の半自動溶接
- ・継手部の溶接部放射線透過試験
- ・角継手 TIG 溶接と隅肉半自動溶接
- ・四角柱の溶接後のエアリークテスト

#### ■電気計装

- ・シーケンス回路(ボール弁開閉表示)組立
- ・遮断弁行き、計装空気配管
- ・配線工事

### 【成績】

|      | 優 勝   |       | 準 優 勝 |       | 第 3 位  |      | 労働組合賞 |      |     |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|------|-------|------|-----|
| 総 合  | 君津支社  |       | 本社工場  |       | 鹿島事業所  |      | —     |      |     |
| 製 缶  | 古田 僚介 | 本社工場  | 道上 裕貴 | 八 幡   | 伊藤 健太郎 | 京 葉  | 平山 亮介 | 鹿 島  |     |
| 配 管  | 松永 賢吾 | 長 浜   | 菅原 祐太 | 君 津   | 古藤 聖   | 黒 崎  | 松井 俊樹 | 鹿 島  |     |
| 仕 上  | 滝澤 啓介 | 水 島   | 仲村 章宏 | 君 津   | 高橋 良輔  | 大 阪  | 鶴 勇治  | 本社工場 |     |
| 溶接   | 被覆アーク | 大堀 勇樹 | 八 幡   | 吉田 翔平 | 長 浜    | 平郡 亘 | 大 阪   | 赤松 優 | 坂 出 |
|      | 半自動   | 寺崎 翔  | 君 津   | 岩崎 翔佑 | 水 島    | 永吉 剛 | 本社工場  | 藤本 豊 | 黒 崎 |
| 電気計装 | 百田 康将 | 黒 崎   | 堀江 友寛 | 水 島   | 宮間 元気  | 京 葉  | 竹内 聡  | 坂 出  |     |
|      | 江湖 光  |       | 森脇 拓也 |       | 夕向 翼   |      | 宮本 真太 |      |     |



製缶



配管



仕上



被覆アーク溶接



半自動溶接



電気計装



厳しいチェックが入る審査



戦いを終えた出場選手たち